

指定職



一日のタイム
スケジュール 例

6:30	起床、息子の朝食・弁当・夕食作り
9:10	登庁
9:45	米国内務省とのミーティング
10:30	審議会議論に参加
12:00	持参の弁当にて昼食
13:30	NPO主催の人工知能に関するフォーラムにて開会あいさつ
14:40	官邸で打合せ
17:00	省内で「IoTフォーラム」に出席
19:00	他省の女性幹部との懇親会
22:00	帰宅、息子の勉強に付き合う、洗濯
24:00	就寝

「波瀾万丈の勧め」

育児も仕事も

また、プライベートでは30代半ばで海外勤務中に息子を出産し、子育ても私の人生にとって、とても大切な要素となりました。出産するまでの私は、とにかく仕事が一番優先、全ての仕事について満点を目指さなければ気が済まない質だったと思います。しかし、子育てで時間を取られる分、仕事を効率よく進めよう、意義のある仕事をしようという意識もより強くなりました。今は高校生になって私より10センチ以上も高くなり、すっかり自立した息子

自治体から総理官邸まで

私が役所に入った頃は、女性が働き続けられる職場はまだ相当に限られていた時代でした。同じく国家公務員だった父の影響もありましたが、仕事を通じて世の中の役に立つことをしたい、そして様々なライフイベントがあっても働きたい、という思いで、国家公務員の職を選びました。働き始めて30年余り、霞が関の本省だけでなく、60名在籍している郵便局の局

ですが、幼児の頃には高熱を出して、夜中に救急に駆け込むこともありました。出張や法案折衝で帰宅できない時は、私自身も寂しく、自分自身を納得させる意味もあって、「ママはこういう大事な仕事をしているからキミとはばらく会えない。」と幼児相手に仕事内容をいちいち説明していました。息子は当然、理解できなかったと思います。ですが、頷いてくれていました。ワーキングマザーにとって、育児は一人で担うことは困難ですし、私も保育園の先生方やベビシッターさん、ママ友の助けとアドバイス、同僚や上司の理解で、何とかやってくることができました。また、家事も子育ても、何でも協働作業としてやってくれる夫ですが、親子関係も見事で、息子の一番の友達と言える程仲良しです。夫は私の仕事も生き方も尊重してくれるパートナーで、彼なくして仕事を続けることはできませんでした。そして、仕事でも

多彩な経験を

仕事では、まずは、目の前の仕事に全力を尽くすことが第一と思って取り組んできました。そして、仕事でも

Message

女性職員へのメッセージ

国家公務員は、大きく変化する世界の中で日本がさらに素晴らしい国になるよう、その進むべき「海図」を描く素晴らしい仕事です。個性豊かな皆さんのチャレンジをお待ちしています。

長から80万自治体の経営、留学や海外勤務、そして総理官邸まで、多くの経験をさせていただきました。こうした仕事を通じて、様々なプロジェクトに挑んできました。

現在、私は総務省で、全てのモノと人がインターネットに接続されるIoT時代の将来像を描く仕事をしています。政策の立案のため、霞が関や永田町はもちろん、産業界や有識者等多くの方々のご意見もお伺いし、もちろん省内でも議論し、走り回る毎日を通じて

しています。その上で、審議会で様々な専門分野の方と議論を交わし、予算を確保したり、法制度を整備したりと多くの取組をしています。

現在の仕事の直前に勤務していた総理官邸では、女性の輝く社会の実現、地方創生、少子化対策等、安倍総理の下で様々な政策テーマを担当しながら、外交や政策決定の最前線に立ち会うことができました。日本が誇りある国として発展し続けるため、全力で走り続ける官邸の経験は何ものにも代え難いと思っています。



総務省
情報通信国際戦略局長

やまだ まきこ
山田 真貴子

Makiko Yamada

Profile

- 昭和59年 郵政省入省(上級甲種(法律職)採用) 通信政策局国際政策課 日米貿易交渉を担当
- 昭和62年 英国ロンドン大学経済大学院留学
- 平成2年 静岡県下田郵便局長
- 平成10年 ~長男誕生
- 平成11年 文部省学術基盤整備推進室長 大学の情報ネットワークの抜本改善、情報学研究プロジェクトの立ち上げを担当
- 平成13年 総務省総合通信基盤局利用環境整備室長 インターネット上の違法有害情報対策等の立法を担当
- 平成16年 世田谷区助役 子育て支援策の充実などに奔走
- 平成22年 総務省大臣官房会計課長
- 平成25年 経済産業省大臣官房 I T 政策担当審議官 総理大臣秘書官
- 平成27年 ~現在 総務省情報通信国際戦略局長